

# 身近なプラスチックのごみが

## 生き物を傷つける凶器になる! ?



わたしたちの周りには、ペットボトルやレジぶくろといったプラスチックのものがたくさんあります。二宮町では、マークがついているプラスチックでできたものは、「容器包装プラスチック」として集め、きちんと処理することで資源にリサイクルしています。しかし、ポイ捨てなどできちんと集められなかったプラスチックは、自然の中に分解されず、川などを通じて海にまで流れ、海を漂うごみになってしまいます。



©東京ハイジ/ニ宮町

生き物がプラスチックをエサと間違えて食べることで、生き物の体が傷つき、最悪の場合には生き物が死ぬこともあります。まずはプラスチックをきちんと資源として分けることを心がけ、海に流れることのないよう、落ちているごみを拾いましょう!

**3R (スリーアール)**

**R Reduce**  
使う資源やごみの量を減らすこと

**R Reuse**  
ものをくり返し使うこと

**R Recycle**  
使い終わったものを資源として再び利用すること

そもそもごみを出さないようにする工夫に3R(スリーアール)があります。

3Rを意識して、みんなで町からごみを減らしていこう!

他にも、環境のためにできることをうら面と一緒に考えてみよう!

出典：環境省 平成 29 年度漂着ごみ対策総合検討業務

開催中

# こども版気候市民会議 の活動報告

現在、二宮町では、小学4年生～中学3年生を対象に、こども版気候市民会議（全4回）を開催しており、17人の子どもたちと共に地球温暖化対策について、様々な視点で学んでいます！

第1回・第2回では、環境工作体験、自然探検ツアーなどの体験を通じて、エネルギーや自然環境の大切さ、生物多様性の重要性などについて考えてもらいました！

第3回と第4回は、ここまでの学びを活かしてみんなで「地球温暖化対策で、どんなことができるのか」をまとめていきます！

まとめた結果を皆さんにも共有するので、ぜひ皆さんも自分のできることを考えてみましょう！

8月24日（日）に4回目を開催しますので、興味がある方は、ぜひ見学に来てください！



## 第1回と第2回の様子



町ホームページはこちら



### 第1弾（5月18日）実施

山林整備で出た間伐材（竹）を活用した工作体験（ソーラー竹灯籠づくり）や座学を通じ、地球温暖化の現状を学びました。



### 第2弾（6月7日）実施

一色地区にある自然との共生を目指した農場や再生可能エネルギー施設を探索し、地球温暖化緩和策・対応策のほか、生物多様性の大切さや自然の恵みの素晴らしさと自然との共生の難しさを学びました。

